

第107期

中間報告書

2006年4月1日から
2006年9月30日まで

日本特殊陶業株式会社

(証券コード 5334)

企業理念

私たちの企業理念は3つの要素で構成されています。



1. 存在意義

最善の技術と蓄積された経験を活かし、世界の人々に新たな価値を提案します。

2. 経営姿勢

社員の個性と能力を活かす環境を整え、総力を結集して信頼に基づく経営を行います。

3. 行動指針

絶えず前進します！

何がベストなのかを常に考え、スピーディーに行動します。

スローガン

私たちは、相互信頼を深め、
未来を見つめた新たな価値を提案し、
世界の人々に貢献します。

目次

| | |
|----------------|----|
| 株主の皆様へ | 1 |
| 中間連結貸借対照表 | 4 |
| 中間連結損益計算書 | 5 |
| 中間連結株主資本等変動計算書 | 6 |
| 中間貸借対照表 | 7 |
| 中間損益計算書 | 8 |
| トピックス | 9 |
| 会社の概要 | 11 |
| 株主メモ | 12 |

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第107期上半期（2006年4月1日から2006年9月30日まで）の連結業績を取りまとめましたので、その概要をご報告申し上げます。



取締役社長

加藤 倫 朗

■当中間期の連結業績

当社グループが主要な事業基盤とする分野におきましては、燃料費高騰の影響から北米などで小型低燃費車に対する指向が強まり、国内自動車販売の不振を補う形で日本車メーカー各社の輸出が堅調に推移し、また、パソコン用途をはじめとする半導体需要も、過剰在庫懸念を完全とは言えないまでも払拭しながら着実な成長を見せています。

このような環境下、当社グループは拡大する市場の動向を的確にとらえ、主力製品分野でのシェア向上を図るべく製造・販売拠点の拡充に努めてまいりました。

この結果、当中間期の総売上高は1,666億57百万円（前年同期比22.5%増）、営業利益は257億74百万円（前年同期比33.0%増）、経常利益は264億7百万円（前年同期比28.9%増）、そして、中間純利益は164億41百万円（前年同期比34.8%増）となりました。これらはおかげさまで、いずれも昨年につき中間期としては過去最高の数字となります。

主な内訳として、自動車関連事業につきましては、新車組付用プラグが、米国向けイリジウムプラグ、欧州向け急速昇温型セラミックグロープラグを中心に順調に売上を伸ばしています。また、補修用プラグにつきましても東南アジア・米国・欧州などで好調な販売が続いています。

一方、自動車用センサにつきましても、環境規制の強化を背景に先進国を中心に全領域空燃比センサ、ディーゼルエンジン向けの広範囲温度センサが高い伸びとなっています。また主力のジルコニア酸素センサも新たなアプリケーション需要の獲得と近い将来二輪車への搭載拡大が期待されることから、愛知県小牧市に来年3月の竣工を目指して工場を増築するなど国内外で生産拠点の新增設に取り組んでいます。

この結果、当事業における売上高は926億50百万円（前年同期比13.8%増）、営業利益は181億円（前年同期比22.8%増）となりました。

次に情報通信・セラミック関連事業では、半導体部品につきまして、新興市場を中心とした情報通信機器の需要拡大が続いており、MPU用オーガニックパッケージ・携帯電話向け通信デバイス用パッケージを中心に、フルキャパシティでの生産が続いています。

産業用セラミック応用製品につきましては、昨年来の本格的な医療用酸素濃縮器のOEM納入がほぼ初期導入を終える時期に差し掛かったことから緩やかな成長となる一方、中国をはじめとした新興国の電力・鉄道などインフラ整備に伴うセラミック製品需要が逼迫し、生産能力を拡大すべく設備投資を決定しました。また、自動車およびIT関連精密加工品の生産拡大を受け、機械工具需要も堅調に推移しています。

この結果、当事業における売上高は716億49百万円（前年同期比34.7%増）、営業利益は76億48百万円（前年同期比65.1%増）となりました。

■配当について

中間配当金は昨年同期比2円増の1株あたり普通配当11円とし、加えまして当社は今年創立70周年を迎えることができ、株主の皆様への感謝の気持ちを込めまして記念配当として3円、合計で14円とさせていただきました。

■今期の見通し

急激に拡大した補修用プラグ市場の反動減や半導体・デバイス市場における市場競争激化の影響、原材料価格の高騰や為替レート等の不透明な要素も多々ありますが、売上高3,280億円（前期比15.1%増）、営業利益480億円（前期比15.6%増）、経常利益485億円（前期比12.4%増）そして当期純利益303億円（前年同期比20.7%増）を予想しています。

当社では今年度を起点とする第4次中期経営計画がスタートし、先の第3次中期経営計画に達成した、「ROE（株主資本利益率）8%以上」、「売上高営業利益率10%以上」という目標の維持拡大に努めるとともに、新たに、2009年3月期に売上高3,500億円、営業利益500億円の達成を具体的な数値目標としています。

会社創立70周年を迎える今年度をステップに、更なる飛躍を目指し目標達成にむけ当社グループ一丸となって努めてまいりますので、株主の皆様のご支援を引き続きよろしくお願い申し上げます。

中間連結貸借対照表

(2006年9月30日現在)

(単位：百万円)

| 資 産 の 部 | | 負 債 の 部 | |
|-----------|---------|-------------------------|---------|
| 流 動 資 産 | 220,424 | 流 動 負 債 | 86,138 |
| 現金及び預金 | 66,364 | 買 掛 金 | 34,122 |
| 受取手形及び売掛金 | 61,341 | 短 期 借 入 金 | 11,896 |
| 有 価 証 券 | 18,260 | 一年以内に償還予定の社債 | 10,000 |
| たな卸資産 | 57,326 | 未払法人税等 | 8,071 |
| 繰延税金資産 | 8,104 | 繰延税金負債 | 208 |
| そ の 他 | 9,268 | そ の 他 | 21,838 |
| 貸倒引当金 | △ 242 | 固 定 負 債 | 39,665 |
| 固 定 資 産 | 175,643 | 社 債 | 16,099 |
| 有形固定資産 | 105,781 | 退職給付引当金 | 14,215 |
| 建物及び構築物 | 40,516 | 役員退職慰勞引当金 | 635 |
| 機械装置及び運搬具 | 40,687 | 負 の の れ ん | 63 |
| 土 地 | 16,584 | 繰延税金負債 | 7,717 |
| 建設仮勘定 | 5,994 | そ の 他 | 934 |
| そ の 他 | 1,998 | 負 債 合 計 | 125,803 |
| 無形固定資産 | 927 | 純 資 産 の 部 | |
| ソフトウェア | 333 | 株 主 資 本 | 245,167 |
| の れ ん | 594 | 資 本 金 | 47,869 |
| 投資その他の資産 | 68,934 | 資 本 剰 余 金 | 55,169 |
| 投資有価証券 | 65,941 | 利 益 剰 余 金 | 152,098 |
| 繰延税金資産 | 1,077 | 自 己 株 式 | △9,970 |
| そ の 他 | 2,005 | 評 価 ・ 換 算 差 額 等 | 23,477 |
| 貸倒引当金 | △ 89 | そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金 | 25,969 |
| 資 産 合 計 | 396,068 | 為 替 換 算 調 整 勘 定 | △2,491 |
| | | 少 数 株 主 持 分 | 1,619 |
| | | 純 資 産 合 計 | 270,264 |
| | | 負 債 及 び 純 資 産 合 計 | 396,068 |

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 有形固定資産の減価償却累計額 216,840百万円

中間連結損益計算書

(2006年4月1日から
2006年9月30日まで)

(単位：百万円)

| | |
|-----------------------|---------|
| 売 上 高 | 166,657 |
| 売 上 原 価 | 119,578 |
| 売 上 総 利 益 | 47,079 |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 | 21,304 |
| 営 業 利 益 | 25,774 |
| 営 業 外 収 益 | 2,352 |
| 受 取 利 息 及 び 配 当 金 | 985 |
| そ の 他 | 1,366 |
| 営 業 外 費 用 | 1,719 |
| 支 払 利 息 | 388 |
| そ の 他 | 1,331 |
| 経 常 利 益 | 26,407 |
| 特 別 利 益 | 38 |
| 固 定 資 産 売 却 益 | 20 |
| 投 資 有 価 証 券 売 却 益 | 17 |
| 特 別 損 失 | 237 |
| 固 定 資 産 処 分 損 | 237 |
| 税 金 等 調 整 前 中 間 純 利 益 | 26,208 |
| 法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税 | 9,222 |
| 法 人 税 等 調 整 額 | 424 |
| 少 数 株 主 利 益 | 118 |
| 中 間 純 利 益 | 16,441 |

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 1株当たり中間純利益 74円28銭

中間連結株主資本等変動計算書 (2006年4月1日から 2006年9月30日まで)

(単位 百万円)

| | 株 主 資 本 | | | | |
|-----------------------|---------|--------------|--------------|--------|-------------|
| | 資 本 金 | 資 本 剰 余 金 | 利 益 剰 余 金 | 自己株式 | 株主資本 合 計 |
| 期 首 残 高 | 47,869 | 55,167 | 138,202 | △6,454 | 234,784 |
| 中間連結会計期間 の変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △2,442 | | △2,442 |
| 役員賞与 | | | △ 103 | | △ 103 |
| 中間純利益 | | | 16,441 | | 16,441 |
| 自己株式の取得 | | | | △3,518 | △3,518 |
| 自己株式の処分 | | 2 | | 2 | 4 |
| 株主資本以外の項目 の変動額(純額) | | | | | |
| 中間連結会計期間 変動額合計 | - | 2 | 13,895 | △3,516 | 10,382 |
| 中間連結会計期間末残高 | 47,869 | 55,169 | 152,098 | △9,970 | 245,167 |

| | 評価・換算差額等 | | | 少 数 株主持分 | 純 資 産 合 計 |
|-----------------------|-------------------------------|--------------------|------------------------|-------------|--------------|
| | そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金 | 為 替 換 算 調 整 勘 定 | 評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計 | | |
| 期 首 残 高 | 27,831 | △3,403 | 24,428 | 1,552 | 260,766 |
| 中間連結会計期間 の変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △2,442 |
| 役員賞与 | | | | | △ 103 |
| 中間純利益 | | | | | 16,441 |
| 自己株式の取得 | | | | | △3,518 |
| 自己株式の処分 | | | | | 4 |
| 株主資本以外の項目 の変動額(純額) | △1,862 | 911 | △ 951 | 67 | △ 884 |
| 中間連結会計期間 変動額合計 | △1,862 | 911 | △ 951 | 67 | 9,498 |
| 中間連結会計期間末残高 | 25,969 | △2,491 | 23,477 | 1,619 | 270,264 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間貸借対照表

(2006年9月30日現在)

(単位：百万円)

| 資 産 の 部 | | 負 債 の 部 | |
|-----------------|---------|-------------------------|---------|
| 流 動 資 産 | 168,520 | 流 動 負 債 | 69,001 |
| 現金及び預金 | 41,668 | 買 掛 金 | 35,209 |
| 受 取 手 形 | 712 | 一年以内に償還予定の社債 | 10,000 |
| 売 掛 金 | 63,787 | 未 払 法 人 税 等 | 6,991 |
| 有 価 証 券 | 18,260 | 未 払 費 用 | 9,283 |
| た な 卸 資 産 | 27,588 | そ の 他 | 7,517 |
| 繰 延 税 金 資 産 | 4,226 | 固 定 負 債 | 36,118 |
| そ の 他 | 12,285 | 社 債 | 16,099 |
| 貸 倒 引 当 金 | △ 8 | 退 職 給 付 引 当 金 | 12,008 |
| 固 定 資 産 | 173,040 | 役 員 退 職 慰 労 引 当 金 | 635 |
| 有 形 固 定 資 産 | 88,466 | 繰 延 税 金 負 債 | 7,375 |
| 建 物 | 32,370 | 負 債 合 計 | 105,119 |
| 機 械 及 び 装 置 | 34,999 | 純 資 産 の 部 | |
| そ の 他 | 21,096 | 株 主 資 本 | 210,761 |
| 無 形 固 定 資 産 | 245 | 資 本 金 | 47,869 |
| ソ フ ト ウ ェ ア | 245 | 資 本 剰 余 金 | 55,169 |
| 投 資 そ の 他 の 資 産 | 84,329 | 資 本 準 備 金 | 54,824 |
| 投 資 有 価 証 券 | 59,552 | そ の 他 資 本 剰 余 金 | 345 |
| 関 係 会 社 株 式 | 16,862 | 利 益 剰 余 金 | 117,692 |
| そ の 他 | 8,003 | 利 益 準 備 金 | 5,837 |
| 貸 倒 引 当 金 | △ 88 | そ の 他 利 益 剰 余 金 | 111,855 |
| 資 産 合 計 | 341,560 | 別 途 準 備 金 | 68,090 |
| | | 特 別 償 却 準 備 金 | 545 |
| | | 繰 越 利 益 剰 余 金 | 43,219 |
| | | 自 己 株 式 | △9,970 |
| | | 評 価 ・ 換 算 差 額 等 | 25,679 |
| | | そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金 | 25,679 |
| | | 純 資 産 合 計 | 236,440 |
| | | 負 債 及 び 純 資 産 合 計 | 341,560 |

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 2. 有形固定資産の減価償却累計額 187,439百万円

中間損益計算書

(2006年4月1日から
2006年9月30日まで)

(単位：百万円)

| | |
|--------------|---------|
| 売上高 | 146,208 |
| 売上原価 | 115,069 |
| 売上総利益 | 31,138 |
| 販売費及び一般管理費 | 12,528 |
| 営業利益 | 18,610 |
| 営業外収益 | 2,314 |
| 受取利息及び配当金 | 1,125 |
| その他 | 1,189 |
| 営業外費用 | 1,473 |
| 支払利息 | 112 |
| その他 | 1,361 |
| 経常利益 | 19,451 |
| 特別利益 | 17 |
| 固定資産売却益 | 17 |
| 特別損失 | 226 |
| 固定資産処分損 | 226 |
| 税引前中間純利益 | 19,242 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 6,728 |
| 法人税等調整額 | 92 |
| 中間純利益 | 12,422 |

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 1株当たり中間純利益 56円12銭

トピックス

■アジア地区生産拠点の強化・拡充

自動車関連事業の重要市場であるアジアにおいて、生産・供給体制を強化・拡充しています。

1. インドに新会社設立を決定

経済発展著しいBRICsの一つインドにおいても自動車・二輪車の需要が高まり、自動車産業の一大マーケットとして急拡大しています。当社はこうした自動車産業の活況と、マーケットとしてのインドの重要性に着目し、2005年10月にデリーに駐在員事務所を開設、市場調査ならびにプラグ工場建設の準備を進めてまいりました。

このたび本格進出の準備が整いましたので、インドにおけるスパークプラグの生産会社『インド特殊陶業株式会社』を設立しました。(9月27日新聞発表)

この工場では、2007年12月の生産開始を予定しており、2010年には年間1,500万個の生産を目標としています。

【インド特殊陶業株式会社の概要】

- ① 会社設立：2006年8月8日
- ② 資本金：約1億円(40百万ルピー)
- ③ 出資：当社の全額出資
- ④ 投資金額：約6億円(2006年度)
- ⑤ 工場規模：敷地面積28,000㎡ 工場建屋5,500㎡

2. 中国・タイの生産拠点を移転・拡充

中国ならびにタイの生産拠点を移転し、生産能力の拡充をしました。中国では上海特殊陶業(有)を移転、スパークプラグに加えて今年末には自動車用酸素センサの生産も開始します。また、タイのサイアムNGKスパークプラグ(株)も旧工場に比べて2倍の敷地面積となり、スパークプラグの生産能力を6割アップさせました。

今後も積極的な事業展開を推進するため、グローバルに活動拠点の拡充を図るとともに、本社と海外拠点を有機的に結合させた『世界最適生産』体制の構築を進め、更なる発展を目指していきます。

■小牧第14工場建設始まる

当社主力製品のひとつであるMPU用オーガニックパッケージの一貫生産工場棟「小牧第14工場」の建設が始まりました。

MPU用オーガニックパッケージは、パソコンの中核であるICチップの性能を最大限に引き出すための重要な役割を担っており、旺盛なパソコン需要を背景とした客先からの増産要請に対応するため、急ピッチで工場建設が進んでいます。

最新設備を備えつつ環境にも配慮した最新鋭の生産工場が2007年6月に竣工します。



建設現場の様子
(撮影：2006年10月中旬)



【関係者による地鎮祭で工事の無事を祈念しました】

■環境社会報告書が生まれかわりました



環境社会報告書2006

2000年から毎年発行している環境報告書が、『環境社会報告書』としてリニューアルしました。

企業理念の実現を目指す当社の取り組みをお知らせするため、企業行動規範に沿った構成とし、これまでの環境報告に加えて、社会報告のページを充実させました。

ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.ngkntk.co.jp/environment/index.html>

会社の概要

(2006年9月30日現在)

| | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------|--|
| 商 英 本 | 文 社 所 在 地 | 号 名 地 | 日本特殊陶業株式会社 NGK SPARK PLUG CO., LTD. 〒467-8525 愛知県名古屋市長区瑞穂区高辻町14番18号 |
| 設 資 本 | 立 年 月 日 | 金 本 金 | 1936年（昭和11年）10月26日 478億69百万円 |
| 発 行 可 能 株 式 総 数 | 発 行 済 株 式 の 総 数 | 株 式 の 総 数 | 3億9,000万株 2億2,954万株 |
| 従 業 員 数 | 員 数 | 員 数 | 5,211名（就業人員） |
| 代 表 取 締 役 | 加 | 藤 | 倫 朗 |
| 取 締 役 社 長 | 橋 | 本 | 玄次郎 |
| 代 表 取 締 役 | 加 | 藤 | 直 幹 |
| 取 締 役 副 社 長 | 堀 | 田 | 郁 雄 |
| 専 務 取 締 役 | 瀧 | 口 | 和 夫 |
| 専 務 取 締 役 | 稲 | 垣 | 純 |
| 専 務 取 締 役 | 春 | 井 | 明 世 |
| 常 務 取 締 役 | 千 | 成 | 篤 博 |
| 常 務 取 締 役 | 川 | 原 | 一 雄 |
| 常 務 取 締 役 | 安 | 部 | 親 礼 |
| 常 務 取 締 役 | 小 | 原 | 道 郎 |
| 常 務 取 締 役 | 奥 | 村 | 隆 夫 |
| 取 締 役 | 川 | 満 | 務 保 |
| 取 締 役 | 山 | 田 | 茂 秀 |
| 取 締 役 | 八 | 木 | 秀 明 |
| 取 締 役 | 加 | 川 | 純 一 |
| 取 締 役 | 岩 | 田 | 康 寛 |
| 取 締 役 | 伊 | 藤 | 恒 夫 |
| 取 締 役 | 山 | 田 | 哲 正 |
| 取 締 役 | 川 | 下 | 政 美 |
| 取 締 役 | 住 | 田 | 克 彦 |
| 取 締 役 | 二 | 村 | 精 二 |
| 取 締 役 | 多 | 島 | 容 郎 |
| 常 勤 監 査 役 | 牛 | 田 | 由 郎 |
| 常 勤 監 査 役 | 津 | 田 | 修 子 |
| 監 査 役 | 大 | 塚 | 銷 子 |
| 監 査 役 | 藤 | 岡 | 瑠 晃 |

株主メモ

| | |
|-----------------------------|--|
| 事業年度 剰余金の配当の基準日 | 4月1日から翌年3月31日まで 期末配当：3月31日、中間配当：9月30日 上記のほか、別途定めることもあります。 |
| 定時株主総会 公告方法 | 6月中に開催 電子公告の方法により行います。ただし、 電子公告によることができないやむを得 ない事由が生じた場合は、日本経済新聞 および中日新聞に掲載します。 http://www.ngkntk.co.jp/koukoku/ |
| 株主名簿管理人 同事務取扱場所 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 郵便番号 171-8508 |
| (電話お問合せ) (郵便物送付先) | 東京都豊島区西池袋1丁目7番7号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-707-696 (フリーダイヤル) |
| 同事務取次所 株式事務の お手続きについて | 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 変更届(住所・氏名・お届出印など) 名義書換請求 单元未満株式の買取請求および買増請求 配当金振込指定書 など、三菱UFJ信託銀行にて受付けてお ります。 どうぞご利用ください。 なお、証券保管振替制度をご利用されて いる場合は、お取引の証券会社にお申し 出ください。 |
| 上場取引所 | 東京・名古屋(第1部) |

NGK | **NTK**
スパークプラグ ニューセラミック

日本特殊陶業
<http://www.ngkntk.co.jp>